

全国障害者スポーツ大会競技規則改正		埼玉県障害者スポーツ大会での対応	
H31年度改正	<p>■障がい区分の変更</p> <p>卓球競技において精神障がい区分が導入される。</p>	⇒	<p>平成29年度から適用する</p> <p>↓</p> <p>★平成31年度より全国障害者スポーツ大会代表選手選考を兼ねた大会とする(希望者のみ)</p> <p>平成31年度から適用する</p>
	<p>卓球</p> <p>○STTTに出場する選手は、アイマスクを各自で用意することとする。</p> <p>また、アイシェードの使用を可とする。</p>	⇒	

全国障害者スポーツ大会競技規則改正		埼玉県障害者スポーツ大会での対応	
H30年度改正	<p>陸上競技</p> <p>○視覚障がい者の競争競技での伴走者有りの場合は紐等を必ず持つこととする</p> <p>…紐は非伸縮性で50cm以内のものとする。(競技者と伴走者の間の距離は50cm以内となる。)</p>	⇒	<p>平成30年度から適用する</p>
	<p>第2部 水泳</p> <p>1. スタートについては次のようにする</p> <p>一般水泳の規則を適用する。スタートコールは「イングリッシュコール」とする。</p>	⇒	<p>平成30年度から適用する</p> <p>☆従来のコール ⇒ イングリッシュコール</p> <p>「用意」 「Take your mark」</p>
	<p>アーチェリー競技</p> <p>リカーブ部門において年齢区分を撤廃する</p>	⇒	<p>平成30年度から適用する</p>
	<p>■障がい区分の変更</p> <p>陸上・水泳・卓球の3競技にて以下の変更となる</p> <p>陸上競技・水泳</p> <p>『視力0から0.01』まで と</p> <p>『その他の視覚障がい』の区分に分ける</p> <p>卓球</p> <p>『アイマスク有り』 と</p> <p>『アイマスク無し』の区分に分ける</p>	⇒	<p>平成30年度から適用する</p> <p>…障がい区分の詳細については、資料2の障がい区分解説表をご確認ください。</p>

全国障害者スポーツ大会競技規則改正		埼玉県障害者スポーツ大会での対応	
H26年度改正	<p>第1部 陸上競技</p> <p>第2条 競走競技</p> <p>12.車いすで100m以上の競走種目に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技しなければならない。</p>	⇒	<p>(平成28年度大会まで)</p> <p>今大会に限り800m以上の車いす競走競技のみヘルメット着用を義務づける。</p> <p>↓</p> <p>(平成29年度大会から)</p> <p>☆車いすで100m以上の競走種目に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技しなければならない。</p> <p>※ヘルメットは選手が準備する。</p>